

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農薬使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報

第7号

果樹

発行日 平成27年 9月30日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用QRコード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

- ◆ りんご中生種も成熟が早まる見込み！！適期収穫・すぐりもぎを徹底しましょう！！
- ◆ 衰弱ぎみの樹にはお礼肥を！！

りんご

1 生育状況

(1) 果実肥大

定観測地点(表1)の果実肥大(横径)は、4～7月の干魃などにより肥大量が鈍化しましたが、開花が早かったこともあり、概ね平年並となっています。

近年、春から初夏にかけて少雨となっていることなどから、園地によっては樹の衰弱による小玉が散見されます。お礼肥を施用し、樹勢の回復を図りましょう。

(2) 果実品質

「ジョナゴールド」の果実品質は、県平均で硬度、デンプン指数は低めで、糖度は平年より高めの状態です(図1～3)。なお、早生品種では、開花の早まりに加え、収穫直前まで気温が高く、降水量が少なかったことから、収穫時期が早まりました。今後の気象によって、着色、熟度の進みが変わることがありますが、中生種も例年より早く成熟することが予想されますので、適切な管理、適期収穫を心がけましょう。

表1 りんごの果実肥大(横径)状況(9月21日現在)

(単位:mm)

9月21日時点の生育状況	ジョナゴールド					ふじ				
	本年(H27)	前年(H26)	平年	前年比(%)	平年比(%)	本年(H27)	前年(H26)	平年	前年比(%)	平年比(%)
岩手町	89.9	86.0	89.6	105	100	85.0	83.1	83.8	102	101
盛岡市	92.6	92.6	88.6	100	105	89.4	86.6	82.9	103	108
紫波町	86.8	79.1	88.5	110	98	87.0	87.2	85.5	100	102
花巻市	89.2	92.5	89.6	96	100	83.0	84.7	82.0	98	101
農研センター	87.8	88.9	90.0	99	98	86.1	85.7	84.1	100	102
北上市	95.0	92.2	91.9	103	103	85.3	87.7	86.1	97	99
奥州市前沢区	86.9	87.6	88.0	99	99	84.6	85.0	85.2	100	99
奥州市江刺区	94.6	91.2	89.7	104	105	83.5	80.7	81.4	103	103
一関市花泉町	89.8	87.9	88.9	102	101	83.0	81.4	81.1	102	102
一関市大東町	88.7	93.1	88.0	95	101	84.5	85.6	83.4	99	101
陸前高田市	91.1	91.3	88.2	100	103	85.8	86.3	82.7	99	104
宮古市	91.0	91.4	91.8	100	99	85.3	83.1	84.7	103	101
岩泉町	90.8	94.4	87.7	96	104	81.5	84.0	83.9	97	97
二戸市	88.2	92.9	89.8	95	98	90.2	88.3	85.1	102	106
県平均(参考)	90.2	90.1	89.3	100	101	85.3	85.0	83.7	100	102

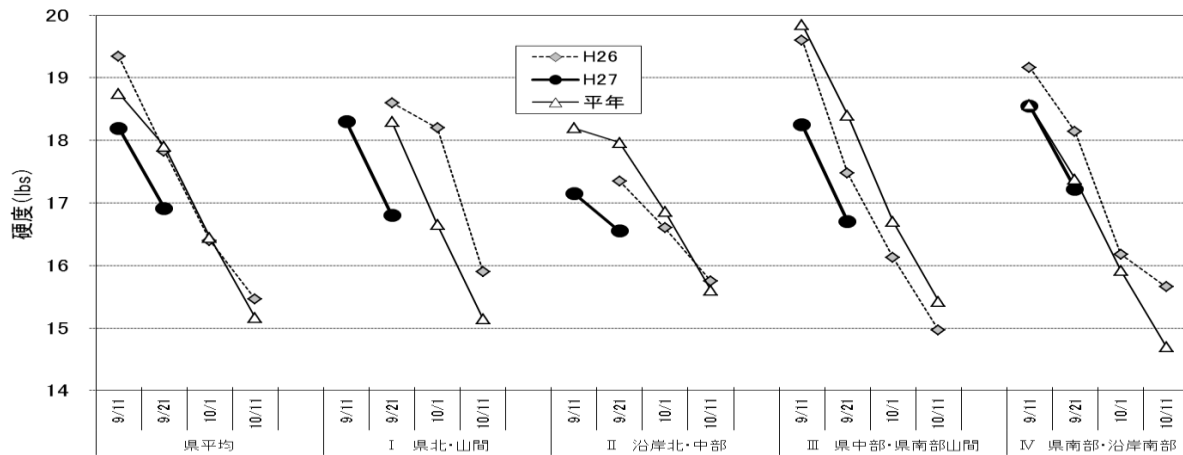


図1 ジョナの硬度の経時変化

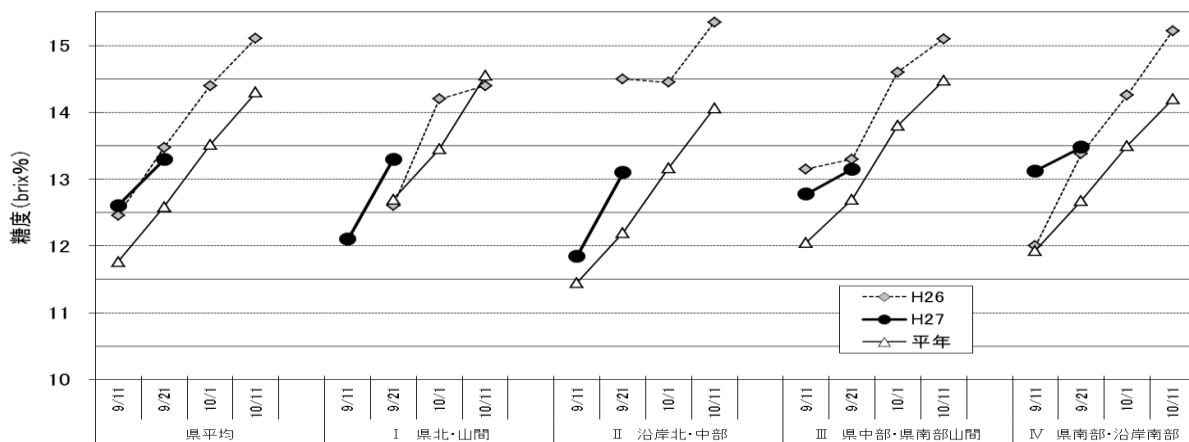


図2 ジョナの糖度の経時変化

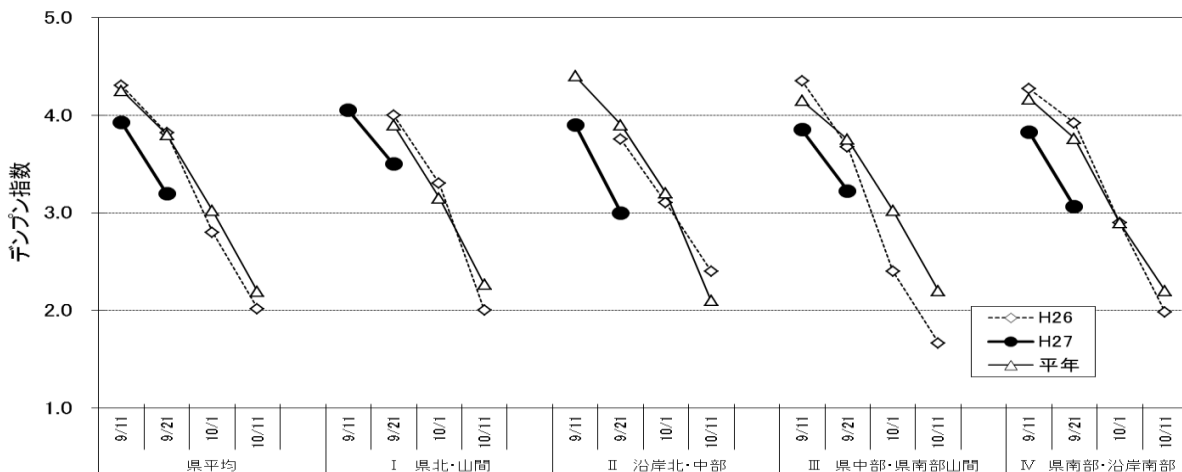


図3 ジョナのデンプン指数の経時変化

2 管理作業

(2) 中生種の管理

ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉や枝カゲをつくらないように玉回しを収穫まで2～3回行います。玉回しと同時に適度な強さに葉を摘みます。

イ りんごの着色適温は10～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みを強くしても着色は進まないため、過度の葉摘みとならないよう注意します。

ウ 「ジョナゴールド」については、着色が不揃いとなりやすいので、徹底したすぐりもぎを行い、収穫と同時に葉摘み、玉回し等着色管理を進めます。

エ 収穫が遅れると果肉の軟化、果皮の油上がりが発生して、販売上不利になりますので、適期収穫を心がけましょう（表2）。

(3) 「ふじ」の着色管理

ア 「ふじ」は、着色期間が30～40日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9月下～10月上旬）と10月中～下旬の2回に分けて葉摘みを行います。1回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2回目は適度な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたら葉や枝カゲを残さないよう玉回しを行います。併せて、開花期が早いと発生が多い傾向のあるつる割れ果の確認も行いましょう。

イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなり果実の着色やみつ入りが劣り、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出ますので注意してください。

(4) 「シナノゴールド」の収穫

ア 年内販売の場合は、表2の収穫時期を目安に、果面にワックスが感じられるようになり、デンプン指数が1以下になったことを確認して収穫してください。

イ 越年販売の場合は、満開後150～160日頃を目安に収穫することで、収穫後約4ヶ月の貯蔵が可能となります。ただし、満開後150日より早く収穫するとやけ病が多くなり、満開後160日より遅く収穫すると貯蔵して4～5ヶ月ころから内部褐変が見られる場合がありますので、注意してください。

表2 中生・晩生種の収穫開始期を目安

品種	満開日 起算日数	満開日※	満開日起算 による収穫予想日	硬度 (lbs)	糖度 (%)
ジョナゴールド	145～155日	4月29日	9/21～10/1	13以上	13以上
王林	160～170日	4月29日	10/6～10/16	14以上	14以上
シナノゴールド	170日以上	5月2日	10/19以降	15程度	15以上
ふじ	165～180日	5月1日	10/13～10/28	14以上	14以上

※ 満開日は、ジョナゴールド、ふじが定点観測地点の平均値、王林、シナノゴールドは農業研究センター観測値。

※ 収穫予想日は、満開日より機械的に算出した数値です。収穫にあたっては果実品質を確認の上、実施してください。

(5) お礼肥の施用

樹の衰弱がみられる場合には、早生・中生品種では9月下旬以降、晩生種では10月中下旬以降からそれぞれ落葉までに施肥を実施してください。施肥量は成木で多くても10a当たり窒素成分5kgを目安としてください。

3 気象災害対策

(1) 台風対策

10月に入っても、まだまだ台風が多く発生する時期です。強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、場合によっては台風の接近前に収穫を進めるなど、被害を最小限にできるよう対策をとってください。

(2) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内が過湿となった場合、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を掘るなど排水対策を実施しましょう。

次号は10月29日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日～11月15日は
秋の農作業安全月間です**

無理するな 疲れたときには NO！作業

中央農業改良普及センター県域普及グループは、現地農業改良普及センターを通じて先進農業者に対する支援活動を展開しています。